



Saitama NEWS

Saitama international cooperation action News

2023
Vol.3



JICA技術協カプロジェクト 水道事業運営管理能力向上プロジェクト (MaWaSU3) 始動



長期専門家 経営企画課 園田主査 (チーフアドバイザー)

2024年2月14日より4年間にわたるJICA技術協カプロジェクト (MaWaSU3) がスタートしました。これは「MaWaSU2プロジェクト (2018年~2023年)」の後継となる事業であり、プロジェクト目標に「国及び各都県における水道セクターの管理・計画・運営能力向上のための持続可能な体制の強化」を掲げ、MaWaSU2プロジェクトの成果の全国展開と、更なる水道セクターの強化を図るものであり、当局から長期専門家 (チーフアドバイザー) として経営企画課の園田主査が派遣されています。



公共事業運輸省水道局 (DWS) における
キックオフミーティング

また、MaWaSU3プロジェクトの実施に当たり、参画事業体である埼玉県企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、さいたま市水道局、そしてJICAの5者間で事業実施に係る連携協定を締結しています。

この連携関係は前身となるプロジェクトを含め、実に11年以上継続されているものであり、4つの自治体がそれぞれ協力することで、個々の自治体の業務負荷を抑えつつ、より効率的に計画、データ管理、土木、水質、財務、顧客管理等の多様な分野をカバーすることができています。



プロジェクト拠点となるドンパラン事務所
(MPWT Institute Building)

MaWaSU3プロジェクト概要

- (1) プロジェクト名：水道事業運営管理能力向上プロジェクト (MaWaSU3)
- (2) 期間：2024年2月から2028年2月 (4年間)
- (3) 目的：ラオス国において、国及び各都県における水道セクターの持続可能な体制強化を図り、もって水道セクターの管理・計画・運営管理能力向上に寄与する
- (4) 参画団体：埼玉県企業局、さいたま市水道局、横浜市水道局、川崎市上下水道局

埼玉大学での講演

「開発と援助の潮流」埼玉大学 小中 鉄雄教授
 【講演者】経営企画課・石川主幹

2024年1月23日に、自治体における国際協力の取組みについて、経営企画課石川主幹が大学生向けの講演を行いました。

これは、今年度前半に、さいたま市のSDGsに関する取組みの紹介に対する学生からの評判がよかったことから、埼玉大学 小中鉄雄教授より、ご担当である「開発と援助の潮流」において、自治体を含めた多様なパートナーとの連携の紹介に関する一例として、水道局に講演依頼をいただいたことにより実現しました。

当日はさいたま市の水道事業の歴史や概要に加え、国際協力における動向や取組み、課題等について、直近では2年7ヶ月にわたりJICA技術協力プロジェクトの長期専門家としてラオスで活動した経験から講演を行いました。

聴講した学生の皆さんからは「国などではなく、自治体が国際協力を実施していることを知って驚いた」、「水道や国際協力に関する理解が深まった」などの感想のほか、「途上国への支援の内容を知り、水道の大切さを再認識した」といった声も聞かれました。



講義会場の様子



講演の様子
 (経営企画課 石川主幹)

令和6年度国際協力事業の見通し

MaWaSU3の活動が本格化し、短期専門家派遣やラオスからの研修員の受入が開始されるため、さいたま市水道局としても最大限協力していきます。また、令和5年度に提案を行ったJICA草の根技術協力事業が採択されたため、実施に係る準備を進め、令和6年度中の事業開始を目指します。次年度以降はこの両事業を中心に、今年度締結した「ラオス国3水道公社との水道分野の協力に関する覚書」に則った技術支援を継続して展開していきます。

実施年次	事業名	
2023-2028年	ラオス国3水道公社との水道分野の協力に係る覚書 (首都ビエンチャン、ルアンパバーン県、カムアン県水道公社)	2023年12月より 5年間
2024-2028年	JICA技術協力プロジェクト 水道事業運営管理能力向上プロジェクト(MaWaSU3)	長期専門家派遣 短期専門家派遣 本邦研修員受入
2025-2028年 (予定)	JICA草の根技術協力事業	職員派遣 本邦研修員受入

国際協力推進検討会議WG 総括

【本会】

R5年度は、通常の国際協力に係る情報共有のほか、JICAインターン生の受入やMaWaSU2プロジェクト終了報告会へのオンライン参加など、国際協力に関する取り組みを少しでも多面的に知っていただくことを目的に活動してまいりました。

次年度も単なる一方通行の情報提供にならぬよう、さまざまな取り組みを検討しておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

【作業部会】

作業部会の活動を通して検討を重ねてきたJICA草の根技術協力事業の次期案件が、無事採択をいただきました。R6年度からは事業開始に向けた各種手続きと活動の詳細検討を引き続き行っていきます。また、語学強化に関する取り組みも、学習方法などへの支援を含め、より拡充させながら継続いたしますので、興味のある方はぜひご参加ください。

ラオスの生活と文化⑧ 朝食

日本では朝食を自宅で作る人が大半だと思いますが、ラオスでは通勤途中で朝食を食べたり、購入して職場で食べるという人が一定数います。隣国のタイやベトナムも含め、観光ガイドで屋台朝食として特集が組まれるほど、一般的で、かつ日本人にとっては物珍しい風習です。

イトインではお粥（カオピアックカオ）や麺（カオピアックセン）が定番で、テイクアウトではご飯とおかずをセットで買ったり、フランスパンのサンドイッチを多く見かけます。

今回の写真はそれぞれMaWaSU3のプロジェクト事務所近くの屋台や店舗の朝の風景で、どのお店も連日通勤のお客さんで賑わっています。ラオスにおける近年のインフレは日本よりさらに激しく、毎年実質賃金が大きく減る厳しい経済状況が続いていますが、それでもまだ朝食は200円以内で済ませることができます。



朝食のみの営業が多いお粥屋
(首都ビエンチャン)



典型的な朝食を売る屋台
(首都ビエンチャン)



毎朝人だかりのできるパン屋
(首都ビエンチャン)



人気のフランスパンサンドイッチ
(カオチャーパテ)

- JICA技術協力プロジェクト(MaWaSU2)、JICA草の根技術協力事業の詳細は
JICA (MaWaSU2) ⇒ <https://www.jica.go.jp/project/laos/023/index.html>
JICA草の根 ⇒ <https://www.city.saitama.jp/001/006/002/034/001/p063565.html>



発行：さいたま市水道局
業務部経営企画課経営企画係
TEL 048-714-3185
FAX 048-832-7775